

防災協だより (129号)

【発行所】(公社) 神奈川県高圧ガス防災協議会
横浜市中区北仲通4-40 (商工中金横浜ビル3階) 電話045-212-1454

【編集責任者】企画部会長 山田 信之
<http://www.kanagawa-bousai-hpg.or.jp>

第7回 通常総会が開催される (通算第46回)

通常総会は、公益法人移行後第7回を数え、神奈川県をはじめ神奈川県警察本部、神奈川県消防長会長、横浜市・相模原市消防局関係、県内高圧ガス保安団体関係等、数多くのご来賓に出席いただき、5月20日(月) ホテルモントレ横浜ビクトリアにおいて開催されました。

本年度は、役員非改選期であり、議事は、「平成30年

度事業報告及び収支決算報告」、「役員(理事・監事)の一部変更(選任)」等について審議され、16時に総会は閉会しました。

休憩を挟み、退任理事・監事への感謝状並びに優良運送員の表彰式を行い、ご来賓お二方のご挨拶を頂いた後、散会しました。

公益社団法人
神奈川県高圧ガス防災協議会

第7回 通常総会

会長あいさつ

布施 重男



皆さんこんにちは。神奈川県高圧ガス防災協議会の布施でございます。

4月末で平成天皇が退位、5月1日には新天皇が即位され元号も令和となりました。

令和元年、記念の年の5月本日、公益社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会の第7回通常総会に、会員の皆様には、大変お忙しいところご出席を戴き誠にありがとうございます。

また、ご来賓として神奈川県くらし安全防災局工業保安課、穂積課長をはじめ県警察本部や消防局、そして関係保安団体の方々には、公務ご多忙中にもかかわらずご臨席を賜り誠に恐縮でございます。

皆様方には、日頃より当高圧ガス防災協議会の事業活動に多大なるご指導と、またご支援ご協力を賜り、誠に有難く感謝申し上げます。

お陰様で、当高圧ガス防災協議会は昭和47年に設立以来今年で47年、途中平成25年に公益社団法人に移行し、早7回目の通常総会を迎えることが出来ました。

47年という長い歴史の中で『公共の安全の確保』特に高圧ガスの移動途上における事故・災害の発生防止と拡大防止に努めて今日に至っております。

平成最後の30年度の事業計画は皆様のご協力を戴き順調に推移致しましたことに改めて感謝申し上げます。

昨年の事業を振り返ってみますと、「高圧ガスの防災体制の構築」として地区部会では、行政・警察・消防・防災事業所の連絡会議を県内6地区で開催致

しました。

平成29年に新防災事業所体制に移行したこともあり、定着に向け情報交換を交え新防災体制の確立・連携強化に努めました。

移動部会では、高圧ガスばら積み車両や一般高圧ガスタンクローリー等、運送車両の点検指導を10月・11月と2か月間にわたり、約2,300台を実施しております。

運送員並びに運送車両の保安基準を点検し、結果につきましては既に送付しております報告書の通りでございます。

また技術部会では、高圧ガス事故に係わる防災訓練として「神奈川県高圧ガス地震防災緊急措置訓練」を10月4日に鎌倉市山崎浄化センターにて開催致しました。

お天気にも恵まれ参加者124名、見学者を含め380名あまりのご参加をいただき盛大に挙行されました。

地震防災意識を高め関係機関との連携体制の充実、被害の拡大防止を目的とした大変有意義な訓練であったと思っております。

訓練参加者をはじめ関係各署・各位には、改めて御礼を申し上げますと同時に、本年開催予定であります県央相模原地区のご担当の方々には、より一層のご支援ご協力をお願いしたいと存じます。

また本年の事業計画は後程お示し致しますが、「防災事業所の出動訓練」をはじめ「高圧ガスの運送・移動に係わる講習や教育」そして「神奈川県高圧ガス火薬類保安大会」への参画等も例年通り含まれております。

本年も、様々な事業活動を展開し、『高圧ガスに係わる保安の確保』に全力を傾注してまいり所存でございます。

そして、すべての高圧ガスに携わる事業所から事故災害がなきよう、自主保安の推進と関係機関との連携体制の充実を図って参ります。

結びに、本日総会の円滑な進行と共に、今後とも当防災協議会への、益々のご支援ご協力をお願い申し上げます。

来賓ごあいさつ

神奈川県くらし安全防災局防災部工業保安課
課長 穂積 克宏 様



ただいまご紹介いただきました、神奈川県くらし安全防災局防災部工業保安課長の穂積です。

本日は、「神奈川県高圧ガス防災協議会」の通常総会にお招きいただき、ありがとうございます。

本日の総会が、このように盛会のうちに開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

皆様方におかれましては、日ごろから、本県の高圧ガスの運送途上での災害防止に、御支援、御協力をいただいておりますことを、この場をお借りいたしまして、厚くお礼申し上げます。

また、本日、表彰を受けられました皆様方、誠におめでとうございます。

日ごろの御努力に改めて敬意を表するとともに、心からお祝い申し上げます。

さて、横須賀市内の防空壕において、腐食ボンベ

が多数発見されましたが、防災事業所として、業務御多忙の中、長い間真摯に御対応いただきありがとうございました。

この中で田浦にある腐食ボンベについては、現在も困難な状況であり、まだ対応ができていませんが、今後についても、引き続き

高圧ガスの専門家としての、ご助言について、よろしく申し上げます。

本県では、今後も皆様方とは、引き続き保安活動の輪を広げて行きたいと考えておりますので、どうぞご協力お願い申し上げます。

結びになりますが、高圧ガス防災協議会の益々のご発展と、お集まりの皆様のご健勝を心から祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

〔ご列席いただいたご来賓の方々〕

・神奈川県くらし安全防災局防災部工業保安課	課長	穂積 克宏
・神奈川県警察本部生活安全部生活安全課	課長補佐	玉井 祥啓
・神奈川県消防長会会長代理川崎市消防局	予防部長	富樫 剛
・横浜市消防局	予防部保安課担当課長	細川 直樹
・相模原市消防局	参事兼危険物保安課長	関口 晃嗣
・一般社団法人神奈川県高圧ガス保安協会	常任理事事務局長	岡本 利一
・公益社団法人神奈川県LPガス協会	専務理事	大島 雅弘
・一般社団法人神奈川県高圧ガス流通保安協会	会長	佐波 充
・川崎市消防局予防部危険物課	担当係長	井形 洋
・横浜市消防局予防部保安課	火薬・高圧ガス担当係長	高瀬 彰久
・相模原市消防局危険物保安課	担当課長	山本 敬治

来賓ごあいさつ

神奈川県消防長会会長代理

川崎市消防局予防部長 富樫 剛 様



ただいまご紹介を賜りました、川崎市消防局予防部長の富樫でございます。

本来ですと、神奈川県消防長会会長であります、川崎市消防局長の原が参りまして、皆様にご挨拶すべきところでございますが、他の公務により出席できないため、くれぐれも皆様によろしくお伝えください、とのことでした。

本日は会長の原から挨拶を預かってまいりましたので、代読により挨拶に代えさせていただきますと存じます。

本日は、公益社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会の第7回通常総会が、このように盛大に開催されましたことに、まずもって、心からお喜び申し上げます。

協議会の皆様方には、平素から各種講習会の開催をはじめ、防災訓練や地域の防災体制の整備など、高圧ガスの保安確保に向け、積極的に取り組み、県内24消防本部を代表いたしまして、改めて感謝を申し上げる次第でございます。

さて、5月から新しい時代の令和元年を迎えたわけですが、改めて平成という時代を振り返りますと、数多くの天災やテロ、事件、さらには記録的な事象が相次いで発生し、多くの尊い命、貴重な財産が失われました。これらの複雑多様化する災害等に備えるためには、大規模災害対策の推進や防火・防災安全対策に加え、消防車両・資機材の充実や消防署所の整備など、災害対応能力の強化や人命救助体制を確立していく必要があると考えております。

また、県民の皆様方の安全で安心な暮らしに対する

関心はますます高く、消防機関に寄せられる期待も大変大きなものがございます。

大規模災害等が発生した場合、1消防機関だけでは対処が困難な事案も多数予想されます。今後は、地域の皆様はもとより、国、県、市町村の防災関係機関、さらには、公益社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会をはじめ、各種公共団体、民間企業等が一体となり連携を強化することにより、大規模災害に対応できるよう、日頃から協力体制の構築に向け確実に取り組んでいきたいと考えており、県内各消防本部との情報を共有しながら、県民の皆様方の期待にしっかり応えてまいりたいと考えております。

また、昨年度から、高圧ガス保安法の事務・権限が神奈川県から各政令指定都市に一部移譲されており、高圧ガスに係る保安確保につきましても、皆様方とより緊密な連携をとりながら、更なる充実強化を図るため、日頃から協力体制の構築に向け確実に取り組んでまいりたいと考えております。

どうか、皆様におかれましては、引き続き変わらぬ御支援と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、公益社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会のますますの御発展と、御出席の皆様方の御健勝、御多幸を心からお祈り申し上げまして、挨拶とさせていただきます。

令和元年5月20日 神奈川県消防長会会長
原 悟志

本日は、誠におめでとうございます

2019年度 事業計画

(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

1 高圧ガス防災体制の構築

(1) 防災事業所等の防災体制整備・維持

① 防災体制整備に伴う新規防災事業所体制の維持と定期的な見直し

防災事業所新規体制の構築に向けた作業は、平成26年度のアンケート調査に始まり種々の調査結果を踏まえ、平成29年10月に防災事業所新体制に移行しました。

本年度も昨年同様、新防災事業所体制が正常に機能するべく、下記内容について作業を進めてまいります。

- ア 防災事業所新体制についての関係者への継続的な周知（連絡会議、講習会、運送員必携等）
- イ 定期的な見直し作業（防災事業所情報、ルール改正等）

② 行政・警察・消防・防災事業所連絡会議

防災協議会からの連絡会議へ出席いただいている方々は、防災事業所及び地区分科会委員で構成されています。昨春の県、指定都市の一部権限移譲や防災事業所の再編に伴い連絡会議への出席者が一部変わりましたが、従来通りの出席メンバー、開催場所で連絡会議を運用いたします。

尚、事故事例を基にした机上対応訓練、喫緊の課題について意見交換など、より一層のコミュニケーション強化に注力します。

(2) 各種高圧ガス運送車両の点検指導

運送車両は、高圧ガスを運搬するうえで警戒標をはじめ、移動時における事故等に備え緊急資材・保護具等の携行が求められます。これらは、自身の認識において十分と判断しても第三者から見た場合は、往々にして欠陥・間違い等があります。

これらの状況是正と遵法を目的に、昨年と同様、車両の点検指導を実施します。

① 高圧ガスばら積み運送車両点検指導

10月1日～31日の間に、昨年と同様の点検実施事業所によって実施します。

② 一般高圧ガスタンクローリー車両点検指導

11月1日～30日の間に実施します。

(3) 高圧ガス事故に係る防災訓練

① 神奈川県高圧ガス地震防災緊急措置訓練

県及び関係保安団体が主催する「2019年度神奈川県高圧ガス地震防災緊急措置訓練」は、県央地区（相模原市）において実施されます。

☆開催場所：淵野辺公園 相模原市中央区弥栄3

☆開催日時：2019年10月3日（木） 13時～16時

② 防災事業所緊急出動訓練

2019年度のミニ防災訓練は昨年と同様に、指定する6地区の事業所において実施しますが、近年各

事業所事情で実施を見送るケースが増えており、開催時期や方法について柔軟性を持たせるなど改善を模索します。

一方、自主防災緊急出動訓練については、緊急措置の自主訓練は今までどおり実施していただきますが、公的機関からの出動要請に対しては、対応が可能な体制作り注力し、具体的には、公的機関からの出動要請に対し社内連絡網（休日・夜間体制を含む。）について検証し、再確認をお願いすると共に、緊急措置訓練にも社内連絡網に沿った呼び出し内容を訓練に取り込み、実施していただきたいと思っております。

2 高圧ガスの運送・移動に係る講習及び教育

これまで同様引き続き、「高圧ガス運送基準指導講習」及び「高圧ガス運送指導員資格取得更新講習」を実施します。またKHKの委託事業として「高圧ガス移動監視者講習検定」についても同様に実施します。

- ① 高圧ガス運送基準指導講習会
- ② 高圧ガス運送指導員資格取得更新講習
- ③ 高圧ガス移動監視者講習検定

3 その他事業

県内、県外を問わず関係保安団体との交流を深め連携強化を図ると共に、関係団体の協力の下、事故災害の防止を目的とした的確かつ迅速な情報収集に努めます。

① 神奈川県高圧ガス火薬類保安大会

高圧ガスを製造し又は取り扱う事業所及び従事者に対し、保安意識とその高揚を図る目的から、工業保安強調月間期間中、保安功労者（個人・団体）に対して防災協議会会長表彰を行います。

また、これら式典を執り行う行政、関係団体との一層の協力に努めます。

② 部会県外研修見学会

他県において開催する防災訓練や地域防災協議会との意見交換を行う目的で毎年開催していますが、昨年度は諸般事由により中止と致しましたので、本年度については、早期に実施要綱等を取り纏め、開催日時、開催場所等を会員の方々に提示し、より多くの会員参加者を募って行きます。

③ 広報

高圧ガスに係る法令、例示基準、運送基準等を始め、他県における情報について収集を図り、会員に対し迅速かつ正確な情報をホームページ、機関誌等に掲載します。

ア 防災協機関誌（「防災協だより」）の発行

イ ホームページ掲載内容の随時更新

④ 事業推進に向けた各種会議の開催や関係団体との会議・打合せ等にも積極的に参加します。

以上

感謝状及び表彰状の贈呈

本年度の総会をもって退任された理事・監事、並びに、運送事業所より推薦された15名の優良運送員の方々への賞状授与式が行われました。

理事・監事の皆様には、理事会をはじめ各種委員会等に参加をいただき、心よりお礼を申し上げます。また、優良運送員の方々には表彰を機に、一層の高圧ガスの安全な取り扱いと安全運転に心掛け、高圧ガスの保安確保に努めて頂きたいと思っております。



《退任理事・監事（感謝状）》

(理事)		小山 達夫	楠原輸送(株)
阿久津義徳	JXTGエネルギー(株)根岸製油所	渡辺 靖	JXTGエネルギー(株)川崎製油所
東山 泰三	新相模酸素(株)相模原工場		
大井 浩一	東亜合成(株)横浜工場	(監事)	
古川 武法	(公社)神奈川県LPガス協会	原田 裕司	大陽日酸(株)

《優良運送員（表彰状）》

青木 一道	内田商事(株)	伊藤 克久	神農流通(株)
松浦 利光	楠原輸送(株)	中山 諭	大光陸運(株)川崎営業所
種市 誠	〃	橋本 孝広	〃 〃
石川 則一	サナミ運輸(株)	安田 秀樹	大道企業(株)
鈴木 月満	〃	高橋 真樹	日酸運輸(株)相模原営業所
井上 雄治	三星物産(株)	伊藤 義規	丸一輸送興業(株)
中里 哲生	〃	川嶋 真治	〃
赤木 大輔	神農流通(株)		



就任のごあいさつ

神奈川県くらし安全防災局
防災部工業保安課

課長 関 猛彦



本年6月に工業保安課長に就任いたしました関でございます。
公益社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会におかれましては、日頃から役員、会員の皆様が一体となり、運送指導員講習、運送員講習の開催、さらに防災事業所緊急出動訓練を実施するなど、運送途上の高圧ガスの災害発生及び拡大の防止にご尽力いただき、厚くお礼申し上げます。
また、昨年度は、横須賀市内の防空壕において、多数の腐食ボンベが見つかりましたが、業務御多用の中、防災事業所としてその

対応に幾度にわたりご尽力いただき感謝しております。
さて、近年、「北海道胆振東部地震」や「熊本地震」、西日本を襲った「平成30年7月豪雨」など様々な災害が各地で起きております。
本県においても、太平洋岸の広範囲で被害が予想される南海トラフ地震の30年以内の発生確率が、70～80%となっております。こうした巨大地震などの災害の発生が切迫している現在では、万一の際の防災力を強化することは不可欠です。
さらに、地震災害時の混乱の中でも、高圧ガスの保安を確保することは、周囲にお住まいの住民の皆様の安全を確保する上で不可欠であり、今後とも皆様に期待される役割は、非常に大きいものがございますので、引き続き、県民が安全で安心して暮らせる地域社会の実現に向け、ご支援、ご協力をお願いいたします。
最後に、公益社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会及び会員事業所の皆様の益々のご発展を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

神奈川県工業保安関係部署異動状況 (2019年6月1日付)

部署・職位	氏名	部署・職位	氏名
くらし安全防災局長	花田 忠雄	くらし安全防災局副局長兼防災部長	竹村 洋治郎
総務危機管理室長	佐川 範久	危機管理担当部長	瀬戸山 昭臣
総務危機管理室企画調整担当課長	和田 浩一	総務危機管理室管理担当課長	青木 淳
防災部災害対策課長	圓道 眞理	防災部応急対策担当課長	上原 正
防災部消防課長	中村 純也		
くらし安全防災局防災部工業保安課 045 - 210 - 3475 Fax 045 - 210 - 8830 (共通)			
(所轄地域：横浜市、川崎市、横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町)			
工業保安課長	関 猛彦		
火薬電気グループ 045 - 210 - 3475			
課長代理・グループリーダー	藤本 祐一	主査(事務)	小島 茂夫
主 事	緒方 興治	技 師	古久澤翔太
非常勤	早重 律子		
コンビナートグループ 045 - 210 - 3479			
グループリーダー	工藤 美子	副技幹	小島 公平
主査(事務)	小澤 俊夫	主査(技術)	太田 浩史
技 師	朝倉 純	技 師	石井 達也
非常勤	原 秀幸		
高圧ガスグループ 045 - 210 - 3484、3489			
グループリーダー	津田 宏久	主査(技術)	加藤 文雄
主査(技術)	保坂 由文	主任主事	安宅倫太郎
主任技師	平井 望	主任専門員	島田 和彦
非常勤	喜多村節義	非常勤	樋口 易代
県央地域県政総合センター 046 - 224 - 1111 Fax 046 - 225 - 5218			
所管地域：相模原市、厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村			
所長(事務)	鈴木真由美	環境部長(技術)	矢板千英子
環境保全課長(技術)	斎藤 邦彦	主査(技術)	堀部 英基
主査(技術)	村田 千裕	技 師	青沼千亜紀
主 事	森 祐輝		
湘南地域県政総合センター 0463 - 22 - 2711 Fax 0463 - 24 - 3608			
所管地域：平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町			
所長(事務)	丸山 尚子	環境部長(技術)	池貝 隆宏
環境保全課長(技術)	赤松 和雄	副技幹	堀田 健治
主査(技術)	三浦 聡子	主査(事務)	山本絵里紗
非常勤	河口 幹雄		
県西地域県政総合センター 0465 - 32 - 8000 Fax 0465 - 32 - 8111			
所管地域：小田原市、南足柄市、中井町、大井町、町田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町			
所長(事務)	川瀬 良幸	環境部長(技術)	人見 孝
環境保全課長(技術)	中田 康博	副主幹	吾妻 毅
副技幹	飯田 信行	技 師	豊島 良祐

ミニ防災訓練関係

平成30年度の「ミニ防災訓練」は、残念ながら訓練参加者の確保難等により、実施された会場は3会場となりました。



2019年度のミニ防災訓練は、時期、方法等再検討の必要がありますが、差し当たり従来と同様の枠組みでミニ防災訓練実施を予定いたします。

尚、地区によっては開催時期が従来の2月ではなく、夏季または秋季に実施する場合がありますのでお手数でも当協会からのご案内文等でご確認ください。

地区	事業所名	地区	事業所名
川崎	昭和電工(株)川崎事業所	湘南	地区合同
横浜	(株)大八 横浜金沢充填所	県西	(株)古川
横三	(株)サガミ	県央	東京ガスエネルギー(株)神奈川支社

2019年度（第47回）神奈川県高圧ガス地震防災緊急措置訓練

訓練開催日時：2019年10月3日（木）13時～16時

訓練会場：淵野辺公園（相模原市中央区弥栄3）

訓練概要：高圧ガス燃焼特性紹介、基本措置訓練等

主催：神奈川県、県内5保安団体

関係機関：相模原市消防局、神奈川県警察本部 他

会員事業所紹介

株式会社 大八 エネルギー事業部

弊社は、1955年（昭和30年）10月の創業以来、「快適で健康的な生活環境作り」をテーマに、いかに社会に貢献すべきかを追求し日々業務に励んでおります。

主な事業内容として、LPガス、ガス機器、厨房機器、給湯機器、冷暖房機器をはじめ住宅関連商品の販売、またLPガス配管工事、給排水工事など人々の生活の向上に強く結びつく事業も合わせて主体としております。

また最近では事業用及び家庭用の太陽光発電システムや燃料電池、蓄電池などのエコ関連事業にも積極的に取り組んでおります。



当エネルギー事業部は、横浜市金沢区唯一のLPガス充填所として、一般家庭用、業務用、販売店様等へLPガスの供給及び住宅設備機器の販売を行っており、お客様に安全安心を届け、暮らしを支えるサービスを心がけております。

今後、当エネルギー事業部が目指すべき方向は『緊急時・災害時の対応』です。

当エネルギー事業部には各方面に特技を持った社員がおり、一致団結したときの対応力は自信があります。昨年は地域のイベントにも参加し災害時の『食』をテーマに出展しました。地震、水害等の災害がいつ来るかわからない現在、当エネルギー事業部は災害時に地域住民を守るため、『衣・食・住+エネルギー』をしっかりと追求し、平常時でも災害時でも全てにおいて牽引役となって生活を支えて『顧客満足+社員満足=感動』を目指していきたくと思っています。

また、地域住民の皆様のインフラを支える責務を念頭に、更なる保安意識の向上と、「安全、確実に何よりも最優先するという強い意識で無事故・無災害を目指す」をスローガンとし、今後も安全・安定操業を最優先とした事業所体制の強化をより一層進めて参ります。

今後とも公益社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会、会員各社の皆様方には更なるご指導ご鞭撻を賜ります様、宜しく願い申し上げます。

大陽日酸株式会社 川崎水江事業所

当社は2004年（平成16年）10月、旧・日本酸素と旧・大陽東洋酸素が合併し、現在の「大陽日酸株式会社」となりました。中核事業としては、空気分離によるセパレートガス（酸素・窒素・アルゴン）をはじめとする「産業ガス」の製造・販売を主に展開しております。また、産業ガス技術の応用から、ガス利用機器や関連工事、保安サービスを提供する等、常に技術の高度化・先進化を図りつつ、多種多様な国内外の市場において皆様の企業活動に貢献しています。

当川崎水江事業所は1953年（昭和28年）、酸素製造装置及び溶解アセチレン製造装置の据付けを以って、「川崎総合工場」として操業を開始しました。その後は当事業所の役割も、当社全体が統廃合・組織分化を進めるなか、時代にあわせて変遷。酸素・アセチレン製造装置はその務めを終えて久しく、現在は複数の社内部署・グループ会社・協力会社が居を構える、複合的機能を備えた事業所となっております。具体的には、高純度ガス・半導体材料ガス等の製造、ローリー車での液化セパレートガス配送、極低温ガスによる凍結・粉碎技術の活用、産業ガス設備のメンテナンス、高圧ガスの販売、等を専業とする各社が、当社諸々部門と共に集積し、有機的に連携しております。当社組織としては、FCV（燃料電池自動車）に水素を供給する「水素ステーション」の開発・設計・保守管理部門を配しており、更には本年度中に、太陽光発電による再生可能エネルギーを活用した燃料電池フォークリフト（FCFL）への水素充填設備を、環境省の補助を受けて設置予定。このFCFLは当事業所内で運用し、一環したエコシステムを構築することで、当社自然調和技術の発展に資するとともに、地域社会の環境保全活動に寄与いたします。他、電子材料プロセスガスの精製・供給・排ガス処理装置類を設計開発する部門や、全国・海外

へのシリンダー（ボンベ）物流における中枢部門を擁する等、多角的な機構を有する当事業所は、基盤を広げる当社業態において、その根幹の一翼を担っております。

また昨年は、当社グループの技術力・保安力の向上と伝承、産業事故防止の更なる徹底の為、敷地内の一角に「テクニカルアカデミー」を開所致しました。

時代は 昭和から平成・令和へと移り変わりましたが、産業の現場における「保安」の重要性は不変です。生産・物流・消費といった様々な場面における「高圧ガスの安全・安心」について、産業ガスのプロフェッショナル・リーディングカンパニーたる当社の責務は今後も益々重要度を増すと自覚し、より一層精進してまいります。公益社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会、会員各社の皆様には、引き続きご指導ご鞭撻を賜りたく、宜しく願い申し上げます。



会員事業所紹介

株式会社ノックス

弊社は、前社長野畑雄一が学生時代より8年間勤務しておりました(株)小川ウェルディング商会から独立し、昭和36年6月1日横浜市神奈川区子安通りに野畑酸素商会(株)を設立し営業を開始いたしました。創業当時の取引先は造船所、鉄工所、自動車修理工場が中心で高度成長の中取引先も忙しくなり軌道に乗ることができたようです。

四年後の昭和40年に現在地横浜市鶴見区潮田町に土地を購入し移転と同時に法人に改組し、鶴見区、神奈川区を基盤とし商売を



展開していきました。昭和30年代には民生用燃料にプロパンガスが使われるようになりLPガス取扱いも多くなってまいりました。従来からの酸素ガス・アセチレンガス等の工業用ガスの販売に加え家庭用LPガスの販売や設備工事も手がけるようになり、また移転した鶴見・川崎には大手企業が数多くあり、そこに関わる下請け業者がメインのユーザーと変わっていき、造船所、鉄工所だけでなくさまざまな業種へと販売先が移り変わっていきました。

昭和47年に一度LPガス関係の業務を分離し別会社を設立しましたが、重複する業務の簡素化と活性化の為に昭和63年11月に両社を合併し、社名も(株)ノックスと改称し高圧ガス中心のイメージから脱皮をはかり現在に至っております。いまでは取扱い品目も増え、高圧ガス、プロパンガス、機械工具、溶接材料、塗料、住設器具、各種工事、船用品などの販売もしております。

長年の間一般高圧ガスの準防災事業所として活動してまいりました。会社も小さく社員も多くない中準防災事業所としての緊急出動は以外と多く防災協議会より頂いているうす緑色をした防災工具を片手に何度となく現場にてお手伝いできたことと自負しております。

現在は一般高圧ガスその他ガスの助言役として活動をしております。今後も神奈川県、神奈川県防災協議会、また会員の皆様と共に保安活動に少しでもお役に立てるよう頑張りたいと思っております。どうぞご指導の程宜しくお願い申し上げます。

株式会社セントラルガスセンター 湘南センター



当社は昭和35年(1960年)10月に50t球形貯槽2基を設置し、セントラル石油瓦斯株式会社平塚LPGプラントとして液化石油ガス製造の許可を受け液化石油ガスの製造、卸販売を開始いたしました。当時は東日本初となる専用側線付液化石油ガス充填工場として鉄道貨車からの受け入れやローリー車への払出、容器への充填を行っておりました(現在、鉄道貨車からの受け入れは行っていません)。昭和40年(1965年)11月にオートガススタンドを設置し、現在の原型が出来上がりました。平成14年7月にセントラル石油瓦斯株式会社から製造部門と配送部門を分離し、新たに許可を受け、液化石油ガスの製造と配送の会社となりました。以降2度の名称変更を経て現在に至ります。

当事業所の立地は、JR平塚駅から東に1km程離れた国道129号沿いにあります。海からも1.5kmと近く、塩害のおよぶ地域にあたります。また、大地震の際には津波による被害も予測される地域ですので、日頃からのメンテナンスや災害への備えが重要と考えています。

セントラルガスグループでは保安活動の基本方針としてセントラルガスグループ保安理念を定めています。内容は『全ての事業活動において地球環境を守り、積極的に自主保安を推進することにより社会に貢献する。』と定め、自主保安と環境保全の両立を目指し

ています。さらに保安理念からセントラルガスグループ保安綱領(こうりょう)として10項目を定めています。この10項目にはそれぞれ指針も定めています。

【セントラルガスグループ保安綱領】

- 1 保安の重要性
- 2 自主保安
- 3 製品の安全・品質管理
- 4 安全設計
- 5 技術ノウハウ
- 6 人材養成
- 7 情報の共有化
- 8 ゆとり
- 9 美化
- 10 リーダーシップの発揮

この10項目のうち、1番目の保安の重要性について、『保安は事業の要であることを全社員に徹底・浸透し、自主的かつ積極的に推進する』。2番目の自主保安について、『保安管理基準を自ら定め、自らの責任で実施する自主保安体制を確立する』。6番目の人材養成について、『知識・経験・資格を兼ね備えた人材養成に努め、精鋭技術集団化を実現する』と定めており、これらは製造部門や配送部門だけでなく、卸部門や直売部門も含めたグループ全体で保安へ取り組むことを表明しています。

これからも地道ではありますが確実に、社員の教育、設備の維持管理に努め、セントラルガスグループ保安理念・保安綱領を堅持していきたいと思っております。今後とも(公社)神奈川県高圧ガス防災協議会ならびに会員各社の皆様のご指導・ご支援の程宜しくお願い申し上げます。



協議会からの“お知らせ”と“お願い”

関東高圧ガス保安団体連合会保安大会の開催（御茶ノ水駅）

開催日時：2019年7月26日（金）13:30（12:30より受付開始）

開催場所：東京ガーデンパレス 2階「高千穂の間」(東京都文京区湯島1-7-5)

記念公演：「高圧ガスの災害と防止対策について」

一般社団法人 海上災害防止センター防災訓練所
所長 大森 春生 氏

2019年度講習会（運送員・運送指導員）日程及び会場（日程変更あり）

回	実施日	会場	運送員	運送指導員
1	2019年 7月 17日（水）	かわさき保育会館	○	
2	〃 7月 25日（木）	横須賀市文化会館	○	○
3	〃 8月 7日（水）	小田原市生涯学習センター	○	
4	〃 9月 11日（水）	相模原南市民ホール	○	○
5	〃 10月 8日（火）	神奈川公会堂	○	○
6	〃 11月 8日（金）	藤沢市民会館	○	○
7	〃 12月 4日（木）	鶴見公会堂	○	○

注）第7回鶴見会場が当初ご案内の12/5から12/4に日程変更になりました。ご注意ください。

2019年度高圧ガス移動監視者講習会開催予定

〔指定する高圧ガス（可燃性、酸素、毒性、液化石油、特殊高圧の各ガス）を一定数量以上移動（輸送）するには『高圧ガス移動監視者』の資格が必要となります。〕

講習・検定開催日程	講習・検定会場	定員
〔講習〕 2019年11月13日（水）～14日（木） （2日間講習） 両日とも9時30分～17時30分 〔検定〕 2019年11月29日（金） 10時00分～11時30分	かわさき保育会館 大会議室 神奈川県川崎市 「京急八丁畷」駅下車 徒歩15分	80名
〔講習〕 2020年1月下旬を予定（2日間講習） 〔検定〕 2020年2月7日（金）	2019年9月1日以降のホームページで ご確認ください。	80名

※申込用紙は、ホームページに掲載してある申込用紙をプリントアウトしてもご利用できます。（9月上旬掲載予定）

防災協議会事務局の「夏季休暇」について

2019年度の夏季における事務所の休業日を下記のとおりといたします。ご不自由をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

2019年8月13日（火）、14日（水）、15日（木）の3日間

事務局までお知らせ・ご連絡をお願いします。

社名、住所、組織変更及び人事異動による変更等がありましたら、お手数ですが所定の様式に必要事項をご記入のうえ、防災協議会事務局あてお送りください。

・社名変更 ・組織変更 ・住所変更 ・電話/FAX番号変更 ・協議会ご担当者変更等

【事務局：電話 045-212-1454 FAX 045-212-1455】

E-mail:jimu@kanagawa-bousai-hpg.or.jp

※「所定の様式」は、ホームページからもダウンロードできます。